

Happy-Hamakan-News (HHN)

浜医看学発 第6巻 第3号

2019年12月号

浜田医療センター附属看護学校

<http://www>

学校祭・・・1P～2P

ナーシングセレモニー・・・5P～6P

各論実習を終えて・・・9P

看護研究発表・・・3P

小児看護学実習Ⅰ・老年看護学実習Ⅰまとめの会・・・7P～8P

学年紹介～日常生活(1年生)・・・10P

中国四国看護研究学会・・・4P



2019年度

学校祭おつかれさまでした！

独立行政法人国立病院機構
浜田医療センター附属看護学校
〒697-8512 島根県浜田市浅井町 777-12
Tel.0855-28-7788
mail : kanri-t@hamakan.nh.jp
https://hamada.hosp.go.jp/kango/index_00001.html

発行責任者
編集責任者
編集

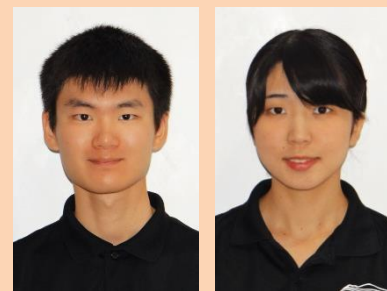
石黒眞吾
高下智香子
田儀千代美、畑中美保、崎本美子、岡本諭、
山岡富美香、福嶋洋子、平田洋子、
三家本八千代、尾川ひとみ、岩成美樹、
松野由香、金山和正



~2019年度 学校祭~

令和1年10月19・20日に学校祭を開催しました。学校祭テーマ「和気あいあい～令和と共に彩りを～」に相応しい、エネルギッシュな生徒宣誓で1日目の幕を開けました。2日目は2600人以上の来場者があり、大盛況で幕を閉じました。1日目の学習会では、「ひとり暮らしの高齢者が、浜田地域でその人らしく生きるために必要な援助を、事例をもとに考える」ことを目標に、骨折で入院をした“はなさん”が退院するためにどのようなことを考えていく必要があるのかを劇を通して学んでいけるようにと企画しました。私たち看護学生は体の構造、病気や治療について学習しますが、それに加えて患者さんが病気で入院し退院したあとどのように過ごして、治療を続けていくかを考えるという勉強もします。通常、実習では患者さんとの会話から生い立ちや好きなもの、趣味などその人らしさを知り生活背景を読み取りますが、今回は患者さんの生き方が一目で分かりやすく、楽しい気持ちで看護内容を考えられるように劇の物語を作成し、発表しました。

その後の意見交換会には、浜田市内の医療、福祉に従事しておられる総勢20名の皆様にお越しいただき、アドバイザーとして参加していただきました。私たち学生にとっては難しい内容で、ディスカッションが行き詰まることもありましたが、アドバイザーの皆様の的確な助言もあり、全グループ、効果的な発表ができました。地域包括ケアシステムにおける多職種連携の実際を学び、何より対象者に寄り添うことが重要であると学ぶことができました。そこから、生命のリスクと、対象者のニーズをアセスメントし、適切なケアを多職種連携で行っていくことが必要な援助だと考えました。これから患者さんに関わる際には、些細なことまで気を配り、思いやりを持った行動がとれるよう意識し、日々の学習を大切にしていきたいと思います。最後になりますが、開催にあたりご協力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。



2年生
日高 武志 角島 里実



学校祭イベント

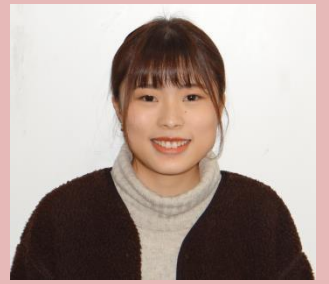
私はイベント係が行う中の、ハンドマッサージ・肩もみのブースを担当しました。今年から新たに、肩もみも実施しました。学校祭当日までの期間、手技を統一させることや当日どのように行えば、来場者の方々に喜んでいただけるのかを話し合ったり先生方の意見をいただいたりしながら練習をしました。

学校祭当日はハンドマッサージ・肩もみのブースで約140の方に来ていただきました。「毎年マッサージしてもらうのを楽しみにしてる。」などのお話がある一方で、「前から気になって今年来てみたよ。」など初めて来場された方にも来ていただいて嬉しかったです。



2年生 上田 梨乃

私はイベント系のリーダーを務めました。準備は5月からはじめ、イベント系はハンドマッサージと肩もみ、講堂の催し、ちびっ子ランド、出演団体の誘導、接待係とブースが多いため、総合的に見て当日の準備を進めることがとても大変でした。しかし当日はイベント系のメンバー同士、全学年で助け合い、準備を細かく調整して行ったことで、当日特に大きなトラブルがなく、成功につながったと思います。また、宣伝係や出演団体の方々など様々な人と情報を共有しあうなかで、連絡や相談することの重要性を実感することができました。



2年生 勝手 優華



模擬店の様子

今年の模擬店では、ラーメン・炊き込みご飯・フランクフルト・赤天・パン・レモネード・ポップコーンを出店し、地域も方々のおかげで全メニュー完売することができました。レモネードでは、去年と同様、小児がん患者のための募金活動を行い、13,193円もの寄付金が集まりました。準備段階では、新商品であるラーメン・炊き込みご飯の試行錯誤を重ね、より良いものを提供することができました。パンはたくさんの種類のものを準備し、お客さんに楽しく選んでもらえるようにしました。忙しい中でも和気あいあいとした雰囲気を迎えることができ、笑顔で接客することができました。お客様が笑顔で「おいしかったよ。」と言ってもらえて、努力を重ねて美味しいものを提供できてよかったなと感じました。自分ができることを確実に、各商品のリーダーを少しでも支えられよう努力しました。もっと積極的に取り組めるようにしたかったと感じる部分もありましたが、当日みんなが協力して無事成功できたからこそ良いものが作り上げられたなと感じました。この協力性を今後の実習でも活かしていきたいなと思います。



2年生
人見 文子 杉本 玲菜



～看護研究発表会で学んだこと～

3年生となり看護学生として、今まで座学や実習で学んできたことの集大成でもある看護研究発表を令和元年9月24日から26日の3日間で行いました。お忙しい中、各病棟の師長さんや院外実習である在宅や精神病院の看護師の方も発表会に参加していただき、質問や助言をしていただき、さらに考えを深めることができました。夏季休暇期間を使い、担当教員と何度も意見交換をしながら一つの研究をまとめました。1月から始まった看護学実習の中で、自分をもっと追求したいことについての事例を取り上げて、患者さんと自分との関わりを振り返り、患者の反応を意味づけしていきました。私が、成人看護学実習で受け持った患者さんは誤嚥性肺炎、認知症があり、食事介助や口腔ケアを嫌がる反応をされていました。自分の関わりは良かったのか、他にもよい方法があったのではないかと思います研究に取り組みました。研究を進めていく中で、文献を用いることで、自分が言いたいことを理論的に説明することができました。今回の看護研究発表会では他の学生の研究発表も共有できたため、2年生の時と比べると、更に看護観を深め、これからの看護に活かしていけると思いました。



3年生 小林 聖菜



～中国四国看護研究学会に参加して～

私は、9月7日に東広島で開催された中国四国看護研究学会に参加させていただきました。私たち1年生は初めての学会参加でしたが、学会の雰囲気を知るだけでなく、看護師の方々の看護研究を聴講して、常に看護師が自己研鑽を行っていることを改めて知ることが出来ました。

私が特に関心を持ったのは、神経筋難病の患者・家族との関わりについて述べた研究です。家族との会話の中で「不安」という言葉に込められた思いを、数々の言葉の中から何が不安なのか、何を望んでいるのかなど汲み取ることが必要であると実感しました。これらの学びを1月に行われる基礎看護学実習Ⅰに活かしていきたいです。また、自己研鑽する姿勢を身につけていきたいです。



1年生 福田 眞子

令和元年9月7日に、東広島芸術文化ホールで看護研究学会がありました。看護の質を向上していくために、日ごろ臨床で行っている看護をテーマに様々な分野の看護研究の発表がありました。3年生での学会参加のため実習で行ってきた看護の理解が深まりました。3年生は実際に看護研究に取り組むため、研究の内容や発表方法などを意識して聞いていました。また、発表後の質疑応答は疑問に思ったことや分からないことを質問することで学びが深まります。私は実際に質問をすることはできなかったのですが、質問内容を聞くことで学びになりました。

私が印象に残っている研究発表は、認知症を患っている療養者を在宅で介護する家族の思いについての研究です。発表を聞いて、家族は日々在宅で介護をしているとゆとりがなくなり、介護負担は大きく認知症特有の症状に対する対応にストレスと同時に先々の不安も感じているということが分かりました。認知症患者の退院支援には家族の介護に対する意向や希望を理解した精神的援助が重要であり、また家族が自分の時間を確保できるようにするためには、療養者のサービス利用を増やすなどのレスパイトケアを導入し家族の介護負担が軽減できるような支援を行うことがとても重要であると再認識しました。今回の学びを通して看護師として患者・家族が安心して在宅生活を送られるように多職種と連携し対象に応じた退院支援を行っていきたいです。



3年生 公田 咲里

コーヒーブレイク

(教務室のつぶやき)



2年生担任 山岡 富美香

みなさん こんにちは。もうすぐ寒い冬、私はロシア民謡の「トロイカ」が好きです。♪雪の白樺並木 夕日が映える 走れトロイカ… ♪響け若人の歌 高鳴れバイヤン… 美しいロシアの景色と勇壮な若者が脳裏に浮かびます。私の趣味は「乗り鉄」ですが、いつの日か浜田から新潟まで在来線で日本海側を移動し、船でロシアに渡り、シベリア鉄道に乗車してフランスまで移動、最終目的地イギリスまでの旅をしたいと思っています。夢をかなえるまで頑張りますよ。

~67期生 ナーシングセレモニー~

12月4日に67期生によるナーシングセレモニーが開催されました。リーダーとして皆の意見を聞き、まとめることの難しさを痛感しましたが、ナーシングセレモニーが成功し、とても達成感があります。

誓いの言葉の決定や会場準備等やるべき事が沢山あった中、良い式典にしようと皆で意見を出し合い、一人一人が自分の役割に責任をもって主体的に行動してくれました。このことから、67期生は妥協しない、団結力のあるクラスだと感じました。

今後、実習や勉強で辛く、挫けてしまいそうな時でもナーシングセレモニーで誓った言葉を思い出し、仲間と協力しながら、私達が目指す看護師像のように日々前へ進んでいきたいです。



1年生 小原 未久

学習発表会

12月4日（水）にナーシングセレモニーと学習発表会が行われました。学習発表会では、入学してからこれまでに勉強してきた講義内容と衛生的な手洗いや血圧測定などの看護技術を発表しました。ナーシングセレモニーの準備と並行しながら学習発表会の準備をすることは忙しく大変なこともありましたが、各担当のリーダーを中心に協力して、お互いに助け合いながら取り組むことができたと思います。

本番では、発表内容ごとに練習の成果を発揮することができました。保護者の方々に私たちが学んだことを見ていただき、充実した学習発表会になりました。今後も67期生の仲間と共に助け合いながら日進月歩で、どんな壁も乗り越えていきたいです。



1年生 黒川 琴乃



手洗い後、汚れがきれいにとれているか器械で確認しました



保護者の血圧測定をしました

校歌に寄せて

私は浜田市民合唱団で歌っています。看護学校には、浜田少年少女合唱団初代指揮者であり本校前音楽講師の真田節子先生の後任として来させて頂きました。そして本校の校歌に触れたところ、作曲者が浜田市民合唱団と浜田少年少女合唱団の創設者である吉見政雄先生だと知り、不思議なご縁を感じています。

校歌の歌詞を調べてみると、次のようなことが分かりました。1番の歌詞にある「鏡山のジェンナーの碑」は種痘法を発明したジェンナーを称える為に、1900年に那賀郡医師会が寄付や募金を集めて建立し、公的なものとしては世界唯一の碑だそうです。その建立した人々の想いを後世に継承するために、2000年には万灯山公園にジェンナーの銅像を建立したとのこと。また、3番の歌詞の「久遠の愛の灯を」はナイチンゲールの灯のことだと、ナーシングセレモニーに参加して感じました。この校歌に託された想いを、皆さんも考えてみてください。



音楽講師
向田 京子先生

校歌

作詞 岡藤 郁枝
作曲 吉見 政男

一、白雲浮かぶ、鏡山
ジェンナーの碑を仰ぎつゝ
集いし人の 幸せに
我身捧ぐ 我身捧ぐ
学ぶ我等の 使命尊と

二、石見の浦に 波高く
理想を胸に 掲げつゝ
秀し技を いや深く
いよ、磨く いや、磨く
学ぶ我等の 使命尊と

三、平和の色の 真白なる
衣を纏いつ 清らかに
久遠の愛の 灯を
常に掲ぐ 常に掲ぐ
学ぶ我等の 使命尊と



万灯山のジェンナー像



～小児看護学実習Ⅰ・老年看護学実習Ⅰで学んだこと～

小児看護学実習Ⅰについて

私たちは、小児看護学実習Ⅰで6日間、保育園・幼稚園に実習に行かせていただきました。事前学習で乳幼児の成長発達などを勉強して実習に臨みましたが、実際に園児と関わってみると、周囲の関わり方や本人の興味の度合いによって成長発達に個人差が生まれていることがわかりました。先生方は、園児のやりたいことを尊重し、個性を大切にされた関わり方をされていと感じました。

実習のまとめの会では、どのグループも月齢の差や小児の遊び方の特徴を学ぶことができていると感じました。また、健康教育では、園児にわかりやすく健康への意識を持ってもらう方法を考えた結果、ほとんどのグループが園児参加型の企画を考えていました。私たちのグループは歯磨きについての健康教育を実施しましたが、後日、園児が意識的に正しい歯磨きの仕方を行おうとしている様子が見られたため、園児の成長発達段階に合った健康教育を実施できたと感じました。

私たちは、今後病棟で疾患を持った小児を受け持つことになります。行動に制限がかかり希望を叶えにくい状況に置かれているということを忘れず、今回の実習で学んだ健康な児の成長発達の個性について活かして実習に取り組んでいきたいと思います。



2年生
嘉戸 真琴 橋本 瑞穂



老年看護学実習Ⅰについて

私たち2年生は9月2日から6日間の老年看護学実習Ⅰに取り組みました。浜田市にあるケアハウス美川とシルバー人材センターの2か所で実習を行い、地域で暮らす高齢者の方々、施設で暮らす高齢者の方々との交流の機会を持つことができ、様々な学びを得ることができました。

全体を通して、相手の生活史・価値観・強みを知ることは、その人の特徴を知ることにつながるということや、コミュニケーションを取ることで、毎日変わる”その人らしさ”や、身体面や精神面、表情の“変化”に気づくことができることを学びました。また、自尊心に配慮しながら想いに寄り添い、時代背景、生活史を知り、強みや価値観からその人の持つ能力を引き出し引き立てる関わり方の重要性を学ぶことができました。

同じ場所で生活をしていても、満足度は一人ひとり違うため、少しでも不満や、ストレスを取り除くために、患者の思いや戸惑いに耳を傾け、寄り添うことを大切にし、患者のニーズに合わせた個別性のある看護を行えるよう、今回学んだことを今後の実習で生かしていきたいです。

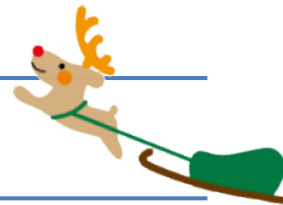
最後に、このような学びの場を提供して下さったシルバー人材センターの皆様、ケアハウス美川の皆様に深く感謝申し上げます。



2年生
田端 命 細田 夏望



～各論実習を終えて～



長い期間の実習を乗り越えていけるだろうかと心配と不安な気持ちで始まった看護学実習ですが、気づけばあっという間に全実習が終わりました。日々学ぶことがたくさんあり、少しずつ看護の魅力に気づくことができました。それぞれの分野で学ぶことや感じることは違い、クラス全員それぞれの看護観が深まったと思います。

私はとくに老年看護学実習の緩和ケア病棟での実習で、患者様がその人らしく過ごすための看護の必要性を学びました。全人的な痛みを取り除くこと、またそばにいることの意味を改めて学ぶことができました。これまでの実習での学びを活かして、国家試験勉強に励み、全員で合格したいと思います。



3年生 佐々木 李紗

統合実習IIまとめの会の様子



国家試験の勉強中



コーヒースタイル

(教務室のつぶやき)



実習調整者 崎本 美子

コーヒーを飲むと気持ちがりセットされます。コーヒーの匂いや飲むという行為で気分転換できます。だいたい私がコーヒーを飲むのは集中力を高めたいとき。でも最初、コーヒーは苦くて飲めませんでした。看護師になり集中力が必要な環境、周囲の先輩たちもブラックコーヒーで飲まれる環境におかれると飲めるようになりました。人は環境に合わせて成長するものです。そのためには気持ちを落ち着かせて、まずは気分転換！！私はピンクが大好き。ピンクのマグカップで今日もコーヒースタイルです！



～学年紹介(1年生)～



私達1年生のクラスは女子34名、男子4名の合計38名のクラスです。私達のクラスは仲が良く、個性豊かで毎日楽しい学校生活を送っています。

5月には初めての実習があり、最初は何をしたらいいのか分からず戸惑うことがありましたが、グループ皆で協力し、声を掛け合いながら助け合うことができました。また、実習で得た学びをクラス全体で共有したことで、より学びを深められたと思います。

ナーシングセレモニーでは、38名一人ひとりが理想とする看護師像を明確にし、看護師像になるという決意を改めることができました。

これから実習やテストなど多重課題となり、挫けそうになることがあると思います。それでも、クラス目標の日進月歩という言葉にあるようにクラス全員で日々成長していきたいと思っています。



1年生 片石 裕梨

車椅子の試験中



そーっと、そーっと...



今から授業がんばるぞ～!

コーヒーズブレイク (教務室のつぶやき)



事務員 松野 由香

私の趣味は、波乗りです！海が大好きです！

こんな寒い時期に波乗りの話と思われるかと思いますが、1年をとおして楽しめるスポーツです。浜田の海も沢山のサーフポイントがあります。波の小さい時期は、友達と車で四国や宮崎に行くこともあり、その地で友達も出来ます。自然とふれあう事で、気持ちもリフレッシュでき私にとっての活力となっています。魅力を語り尽くせないのでも是非一度体験して頂きたいです！

2020年サーフィンがオリンピック競技になったので、この波に乗って多くの方が波乗りに興味をもってくれたら嬉しいなと思っています。



学校祭での募金活動報告

10月20日に行われた学校祭では、約2,600人の方にご来場いただきました。次の募金活動へご協力いただきましたのでご報告させていただきます。

1. フリーマーケット

売上 73,730円

●浜田医療センターを通して地域へ還元→売上金相当分の車椅子を浜田医療センターへ寄贈

2. レモネード募金(小児がん募金)

金額 13,193円

●一般社団法人レモネードスタンド普及協会 (<http://www.lemonad-pa.jp>) へ寄付

3. エコキャップ回収 14,405個

16.8人分のワクチン

●世界の子どもたちへのワクチン支援として、みどり商会株式会社(取扱事業所)へ配送

学生・職員一同より、ご支援・ご協力いただきました地域の皆様に深く感謝致します。
ありがとうございました。



本年中はたくさんのご支援・ご協力を頂きありがとうございました。
来年も引き続きご支援いただきますようよろしくお願い致します。
本格的に寒さが増してきますので皆様ご自愛くださいませ。
2020年が皆様にとって良い年でありますように……

2020年度 一般入学試験

願書受付期間 2019年12月17日～2020年1月14日

試験日 2020年1月23日

連絡先 TEL0855-28-7788

https://hamada.hosp.go.jp/kango/index_00001.html

